

# 温泉成分等揭示板

1 源泉名 第一貯湯槽(伊豆の国市長岡字掛堰1157-2) 第二貯湯槽(伊豆の国市長岡車坂1378-4)											
2 温泉の泉質 アルカリ性単純泉											
3 源泉の温度 第一貯湯槽 59.9度 第二貯湯槽 62.3度 温泉を提供する温度 42.0度											
5 温泉の成分(第一貯湯槽 pH9.0・第二貯湯槽 pH9.0)											
陽イオン			陰イオン			非解離成分			その他微量成分		
	第一貯湯槽	第二貯湯槽		第一貯湯槽	第二貯湯槽		第一貯湯槽	第二貯湯槽		第一貯湯槽	第二貯湯槽
ナトリウムイオン	157.2	163.5	炭酸水素イオン	30.1	14.4	メタ亜ヒ酸	0.2	0.2	マグネシウムイオン	0.05	0.04
カリウムイオン	2.9	2.5	炭酸イオン	10.8	16.3	メタケイ酸	71	74.1	アルミニウムイオン	0.08	0.06
カルシウムイオン	17.7	19.6	水酸化物イオン	0.2	0.2	メタホウ酸	5.7	6.3	マンガンイオン	0.01	0.01
			塩化物イオン	120.5	116.6				鉄(Ⅱ)イオン	0.05	0.05
陽イオン計	177.8	185.6	硫酸イオン	178.4	196.4	非解離成分計	76.9	80.6	鉄(Ⅲ)イオン	0.05	0.05
			臭化物イオン	-	0.1				銅イオン	0.01	0.01
						溶存ガス成分	0	0	臭化物イオン	0.06	-
			陰イオン計	340	344				ヨウ化物イオン	0.08	0.05
									リン酸水素イオン	0.09	-
									総リン酸態リン	-	0.03
6 温泉の成分の分析年月日 平成17年6月17日						浴用の禁忌症					
7 登録分析機関の名称及び登録番号 (財)静岡県生活科学検査センター						急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病(但し高温浴「おおむね42℃以上」の場合)、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、高度の動脈硬化並びに高血圧症(但し高温浴の場合)、その他一般的に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)					
8【加水の有無とその理由】 加水の有無 有/加水の理由:湯を張る場合に源泉が高温の為、適温にする為						浴用の方法及び注意					
9【循環の有無、ろ過の有無とその理由】 循環の有無 有/循環の理由:浴槽内温度を均一に保つ為 ろ過の有無 有/ろ過の理由:衛生管理と温泉資源の保護の為						(1)温泉療養については、温泉について専門知識を有する医師の指導を受けることが望ましい。 ○温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を一日あたり1回程度とし、その後は一日当たり2回から3回までとすること。 ○温泉療養の為の必要期間は、おおむね2週間ないし3週間とし、湯あたりが現れたら、症状が改善するまで、入浴回数を減じるか中止すること。					
10【入浴剤の使用の有無及び名称とその理由】 入浴剤の使用 無し						(2)入浴時間は入浴温度により異なるが、初めは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。 (3)入浴中は一般には安静を守り、入浴後は湯冷めに注意をして一定時間の安静を守る。					
11【消毒の有無及びその方法とその理由】 消毒の有無 有/使用の理由:衛生管理及び静岡県公衆浴場条例の基準を満たす為に塩素系薬剤を使用しています。						(4)入浴後は身体に付着した温泉成分を水で洗い流さない。(湯ただれをを起こしやすい人は真水で流すか、温泉成分をふき取る。) (5)熱い温泉に急に入るとめまいを起こす事が在るので、身体にかけ湯をしてから入浴する等充分注意をする。 (6)食事の直前・直後の入浴は避けることが望ましい。 (7)飲酒をしての入浴は特に注意をする。					
【温泉利用許可番号】 沼保総第 3-38号						入浴の適応症					
【施設の場所及び名称】 静岡県伊豆の国市古奈243-3 伊古奈荘						神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩・運動麻痺・関節のこわばり・打ち身・くじき・慢性消火器病・痔疾・冷え性病後の回復・疲労回復・健康増進					